

平成29年 第6回伊那地域協議会会議録

開催日	平成29年12月14日(木)								
開催時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後8時00分			
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール								
委員の出欠  出席25名 欠席14名		委員氏名			委員氏名			委員氏名	
	1	板倉 倫顕	出	16	伊藤 和義	出	31	岩本 庄平	欠
	2	守屋 武夫	出	17	西澤 茂成	欠	32	高橋 陽子	欠
	3	伊藤 仁	出	18	福澤 千絵	欠	33	唐木 由美子	出
	4	久保村 友保	出	19	若林 一雄	出	34	鈴木 優子	欠
	5	白鳥 始	出	20	池上 直樹	欠	35	平澤 澄穂	欠
	6	細田 幸一	欠	21	宮下 平治	欠	36	武田 登	出
	7	中村 初治	欠	22	畑 英城	欠	37	平賀 裕子	出
	8	宮下 信一	出	23	中村 繁子	出	38	小林 正	出
	9	中村 隆幸	出	24	小林 旬子	出	39	井口 清吾	出
	10	伊澤 芳人	出	25	向山 昌江	欠			
	11	有馬 久雄	出	26	田中 利幸	出			
	12	酒井 秋雄	出	27	小池 弥生	出			
	13	林 典男	出	28	中村 一重	出			
	14	米窪 砂男	出	29	永井 治彦	欠			
15	平澤 徹	出	30	清水 功	欠				
署名委員	伊藤 仁			白鳥 始					
条例第10条の規定により出席した者	なし								
市側の出席者	なし								
出席した事務局職員	地域振興係長 飯島 勝 地域振興係 橋爪 智美								
議 事	(1) 伊那市協働のまちづくり交付金事業(地域協議会事業)について (2) 小グループによる検討について ・提言書の内容確認 (3) その他								
配布資料	資料 No. 1 H29伊那市協働のまちづくり交付金事業一覧 資料 No. 1-1 伊那市協働のまちづくり交付金事業選考シート								

	資料 No. 2 提言書 資料 No. 3 伊那地域協議会 委員構成検討資料
--	---

#### 1 開会

有馬副会長により、開会する。

(欠席の報告)

#### 2 あいさつ (会長より)

今回は3点について協議していく。1点目は検討してきた課題が提言書としてまとまってきたので、最後の審議をお願いしたい。次は交付金の選考結果の発表である。もう1点は次期委員の構成についてである。よろしくをお願いしたい。

#### 3 会議録署名人の指定について

(会長)

会議録署名人に3番 伊藤 仁委員、5番 白鳥 始委員を指名する。

#### 4 協議事項

(1) 伊那市協働のまちづくり交付金事業 (地域協議会事業) について  
(事務局)

伊那市協働のまちづくり交付金事業 (地域協議会事業) について説明

(委員)

事業の内容について説明

< 質疑・応答 >

(委員)

対象エリアは中心市街地なのか、あるいは伊那市全体なのか。また、商工会議所、JA、市、観光協会等それぞれホームページが有りデータを持っていると思うが、それらとのリンクができるのか。

(委員)

エリアについては、1班は中心市街地活性化についてどういったことが必要か検討してきた中での今回の事業であるので、中心市街地の定義が曖昧でもあるが、それぞれのライターが伊那市駅から歩いていける範囲ということで、あくまでもそれぞれのライターにまかせるとい形にしている。また、伊那市や商工会議所等の情報のリンクに関しては、技術的には可能だが、今までそういった情報が沢山あるので整理整頓するような、違う切り口でみせるようなものが望ましいのではないかと思う。機能としてはリンクは可能である。

(委員)

大変良い事業だと思う。さらに検討の範囲を広げてもらいたいと思うのが、確かに中心市街地を対象にしているが、伊那市に來るどういった方を対象にしているのか。ほとんどの方が車でくると思うので、中心市街地の情報だけでは物足りないのではないかと。伊那市全体を対象とした方が良いのではないかと。

ライターの方を増やすのは良いと思うが、店とライターが個人的な関係で紹介する、場合によってはバックマージンということもありうるかと思う。どのように考えているか。

(委員)

そもそも中心市街地の活性化を考える班の中で、歩いて街を回ってもらえる方をどれだけ増やせるかということが、中心市街地の活性化につながるのではないかとというのが大前提にあり、もちろん他の伊那市の素敵なお店を掲載するようなアプリがあればいいと思うが、今回の事業に関して言えば中心市街地を活性化するという目的に向かって街を歩いてもらおうと案を出している。

ライターには最初だけお金が支払われるが、バックマージンではなく、お金を払うから載せてほしいということをオープンにすれば、最初と同様にライターに支払うお金ができる。事実と異なることを掲載しても、見破られてお店は人気は下がることになるので、ライターが事実を書くことでお店も努力するというようないい循環が生まれると良いと思う。

(委員)

これは中心市街地活性化のグループ討議から発生してきた事業なので、とりあえず立ち上げてみてもらって、その後中間報告なり経過の検証の中で皆さんの意見をいろいろ取り入れて伸ばしていけば良いと思う。

(委員)

ライターが個々に記事を作成するわけだが、個人情報等難しい問題もあるので、最終的な記事のチェックをする機関はあるのか。

(委員)

ダメな情報が多く掲載されていくとアプリとして機能しなくなるので、情報を精査する編集作業を行う。書き方の講習をします、カメラの取り方の講習をします、では書いてくださいとそれぞれを勝手に載せるということではなくて、一旦窓口を集めて精査し、また最初の段階である企画もかぶらないようにコントロールをする。

(委員)

6つの年代別のテーマがあるが、私が他の地区に行きたいと思う項目は歴史的なものがある。高齢者でも行ってみたいと思い調べてみるような魅力を発掘して、駐車場や歩きや

すいルート、いくつかの魅力的なポイントなどを掲載することが大切であり、食べ物や歴史的な場所などいくつかのテーマがあった方が良い。遠くからわざわざ来て観てもらえるような情報がないと活性化までいかないのかもしれない。

(会長)

初めての試みであるので、先程の意見にもあったように、まずやってみて精査しながら取り組んでいていただければと思う。

(2) その他

(事務局)

3月で今回の地域協議会委員の任期が終わるので、新しい委員を選んでいただくことになるが、委員の選出区分について前回の協議会で検討をお願いした。意見があればお願いしたい。

<質疑・応答>

(委員)

自分は複数区からの選出となっているので、次回はもう一方の区から選出されるよう1期ごとの交代でお願いしたい。

(事務局)

複数の区で1名を選出する区は、おそらく区の間で順番が決まっていると思われる。地区間のルールで選出いただければと思う。

(委員)

協議会にあまり出席していない委員がいるため、きちんと出席していただくようにすべきである。個人の都合もあると思うが、出席率が悪い委員には途中で交代していただく方法を取っていかないと、何のために各団体の代表で選出されてきているのかということにもなる。団体に選出いただくときには、一言付け加えて選出をお願いしてほしい。

(会長)

団体によっては非常に出席率が悪いところもある。

(委員)

青年会議所は男性が多くて女性がほとんどいない中で、女性を選出してほしいと指定すると、委員として名前だけは出るが、出席ができないという方がほとんどと思う。女性という指定をしないか、または青年会議所へ委員を出せるかどうか確認した上でお願いをし

た方がいいのではないか。

(委員)

P T Aからの選出だが、2年の任期だと委員に選ばれたときは役員だったが、2年目は役員でなくなり小学校と関係がなくなるので、2年任期ではなくて1年任期で現役の役員の方が出てくるのが良いのではないか。

(会長)

区からの選出については、現役の役員だと忙しいので、一度役員をやって退いた方に協議会の委員をやっていただくのが良いのではないかという経緯がある。

(委員)

昨年P T Aの副会長ということで協議会の委員に選出されて、今年はP T A会員であるが、協議会の委員を引き受けるときに説明を受けて引き受けている。自分の選出母体の小学校ではルールを設けて引き継ぎをしているので、各小学校でルールを設けてきちんと引き継ぎをしてもらえれば良いのではないか。

(3) 小グループでの検討について

(事務局)

各グループから検討結果を提出いただいたものを提言書にまとめたので、内容の確認をお願いしたい。

<グループによる検討>

<グループによる検討結果発表>

(グループ1) 「中心市街地の活性化について」

本日協議いただいた伊那まちアプリの件は、提言書に項目として記述がないので載せていただきたい。現項目の②と③の間に記述をしてほしい。

(グループ2) 「地域のつながりについて」

課題と在るべき姿を少し手を加えて修正したい。他については修正はない。

(グループ3) 「伊那地域の公共施設の在り方について」

一部訂正があるが、ほぼ原案とおりでお願いしたい。

(グループ4) 「少子化、加速化への対策について」

文字の訂正がある。他の修正はない。

5 その他

(事務局)

区の会計年度の移行について前回提言をしていただいている。切り替え年度には役員の方は1年3か月が任期となる。その際の行政事務連絡員交付金だが、3か月長くやっただけということで、交付金は3か月分を上乗せして交付する。

6 閉会

(副会長)

お忙しいところありがとうございました。以上を持ちまして、第6回の伊那地域協議会を閉会とする。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

平成29年12月14日

平成29年度 第6回伊那地域協議会 会議録

会 長 \_\_\_\_\_

会議録署名人 \_\_\_\_\_

会議録署名人 \_\_\_\_\_